

会 議 録

会 議 名	第31回野田市市民活動支援センター運営協議会
議 題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市民活動支援センターの登録状況について (2) 市民活動支援センターの利用状況について (3) ミニ学習会及び県出前講座について (4) 野田夏まつり踊り七夕について (5) 第3回市民活動元気アップふえすたについて (6) 市民活動に関するアンケートについて (7) 野田市市民活動支援センター（イオンノア店内）会議室の使用方法について (8) 平成31年度野田市市民活動団体支援補助金について (9) 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について
日 時	平成30年10月19日（金）午後2時から午後3時50分まで
場 所	野田市役所高層棟8階 旧レストラン会議室
出 席 委 員	<p>会 長 竹澤 勇司</p> <p>委 員 酒井 幸子、武智 多恵子、加藤 満子、岩井 勝治、 渡邊 勝男</p>
欠 席 委 員	副会長 立山 喜弘、委 員 北倉 恵美子
事 務 局 等	<p>副市長 今村 繁</p> <p>市民生活課長 大塚 盛也</p> <p>市民生活課長補佐 相塚 恒雄</p> <p>市民活動支援センター長 釜田 正雄</p> <p>市民生活課コミュニティ係長 小川 光博</p> <p>コーディネーター 荒井ハツヨ、嶋田 由花、辻 朝子</p> <p>支援補助員 向佐 美知子</p>
議 事	第31回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
1 開会	小川係長

平成30年10月19日午後2時、開会を宣言した。会議の成立について報告した。
会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。傍聴人の申出がなかった
ことを報告した。副市長は他の公務により遅参することを報告した。

2 議事

(1) 市民活動支援センターの登録状況について

(資料(1)-1～(1)-3)

議長(竹澤会長)

議題(1)について説明を求めた。

釜田センター長

議題(1)「市民活動支援センターの登録状況について」を説明した。

議長(竹澤会長)

議題(1)について、委員に意見を求めた。

加藤委員

我孫子市ですが、分類が7分類と少なく合計だけが出ていますが、我孫子市は以前から特徴的な活動をしている団体が多いと思っていましたが、その辺りがここでは見えてこない。何か調査の時に感じたことはありますか。

釜田センター長

調査する中で我孫子市だけは異色で、ホームページで各市のセンターが資料を公開しているの、それを見ますと柏、鎌ヶ谷、松戸などについては、団体数の多い、少ない等はありませんが、分野ごとに仕分けされています。この仕分けについては今までの運営協議会で御説明しているとおり、NPO法人の活動分類の19分類で便宜上分けています。任意団体だとないのでほかの市でも同様だということが分かりましたが、我孫子市については、これしか情報が入手できなかった。その先までは追及はしていないが、区分別ということであるという形になるということで申し訳ございません。

議長(竹澤会長)

ほか意見がなければ議題(1)については了承でよいか問うた。

《異議無し⇒了承》

(2) 市民活動支援センターの利用状況について

(資料(2)-1、(2)-2)

議長(竹澤会長)

議題(2)について説明を求めた。

釜田センター長

議題(2)「市民活動支援センターの利用状況について」を説明した。

議長(竹澤会長)

議題(2)について、委員に意見を求めた。

《意見無し》

竹澤会長

では私から、訪問団体を決定するに当たって、何か基準というものがあるのか。また、訪問するまでの流れを参考にお聞かせいただきたい。

釜田センター長

今年度の事例で言いますと、市民活動つうしんという機関紙の中で団体訪問記ということで3団体くらいを紹介していますけれども、その選択に当たっては、過去の活動分野ごとの掲載一覧を作って活動分野のアンバランスがないか確認しています。今年度は広く何を紹介するかということで、28年度から特に力を入れてきた助成金の関係をというところで、助成金をもらった団体が助成金をどう活用しているかという視点で前回の18号では野田市の補助金をもらっている団体と、野田市以外の助成金をもらっている団体とを訪問しました。今後も助成金だけでなく、例えば新しい団体であるとかいろいろな視点で選択したいと考えています。この後説明しようと思いましたが、相談業務が一番重要ということで今年度10月からですが、123団体ある登録団体を3人のコーディネーターでNPO法人や活動分野に分けて相談業務の担当制というのを導入しました。その中で昨年度実施した関与度調査で、これまであまり付き合いのなかった団体とか、今年度実施したアンケートでの各団体の課題とかというものを一つのきっかけとして電話なり訪問なりをしたいと考えています。つうしんの団体訪問記についても各コーディネーターで1団体ずつ掲載するようになると思いますが、視点を決めて選択したいと考えています。

竹澤会長

いろいろ苦勞されているのが分かりますが、訪問についても通知が来て有り難い、待ち遠しいと団体に言ってもらえるようになってくれば有り難いと思います。

嶋田コーディネーター

18号の市民活動つうしんを見ていただいたかと思いますが、私は外国人支援グループを訪問させていただいて、ちょうどこのレストラン会議室で子供たちに学習をし

ているところを訪問したのですけれども、大和証券の助成金を頂いてそれを活かしてらっしゃるということで、非常にうまく活動に利用されているということで、備品をそれまでボランティアでやっていらっしゃるので、自前のパソコンを使っているとか、会員の方のご自宅に備品を保管していらっしゃるとか苦労されていたので、保管庫を買ったり、パソコンもグループで所持できるようになったとかおっしゃっていたので、我々も助成金を利用されているところを見て、いい活動をされているなど感激しましたし、訪問するとそれぞれの団体の活動が良く見えて、今回はつうしんの取材という機会に訪問しましたが、現場に行ってお話を聞くということは大切だと感じました。

辻コーディネーター

私は初めての訪問ということで、中途失聴者・難聴者の集い「みみづくの会」に訪問させていただきました。それで、助成金をどのように活用しているかとか、こんなふうを活用したとかいうことを伺ってこようということで。そうしたら、みみづくの会さんは助成金で念願だった中途失聴者の集いというのを文化会館で開催できたということで、DVDとかも作りましたということで大変喜んでおられましたし、会議の仕方も私たちが行っているものと全く違って、要約筆記の方たちを必ずお呼びになったりとか、どうしても引っ込み思案になっていた方たちが、なるべく気さくに参加されるように、外出する機会を作るようにだとか、いろいろなアイデアを募っていらっしゃったりして、本当に目からうろこが落ちる思いで大変勉強になりました。

竹澤会長

やはり現場に出ることが、いろいろな分野においても共通してプラスになると感じます。

議長（竹澤会長）

議題（2）について、ほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

（3）ミニ学習会及び県出前講座について

（資料（3）－1、（3）－2）

議長（竹澤会長）

議題（3）について説明を求めた。

荒井コーディネーター

議題（3）－1「ミニ学習会①の助成金基礎講座（3）について」を説明した。

辻コーディネーター

議題（３）－１「ミニ学習会②のパソコン初心者連続３回講座について」を説明した。

嶋田コーディネーター

議題（３）－２「県出前講座のNPO法人諸手続き講座について」を説明した。

竹澤会長

議題（３）について、委員に意見を求めた。

渡邊委員

うちの団体からも１人参加したと思うが、一緒に活動していると参加したいという人と、最初から駄目だと諦めている方がいる。やはり自分もそうですが、普段使うところは分かるけれども、それ以外は全てを覚えられない。ここにあるような４つの基本的なところを、まずは自分と同じような人たちとするというのはいい機会だと思います。

武智委員

こういう学習という目標はもちろんだが、交流やつながりができるというのは良いことだと思います。すごく大事にしていかれると良いと思います。

岩井委員

支援センターとして、皆さんの活動のお手伝いをということは本当に良いことだと思います。引き続き頑張ってくださいと思います。

渡邊委員

県出前講座についてですが、大分前にNPO法人の資料が配布されていて、私も冊子が家にありますが、改訂されてこれ自身が古いのではないかと思います。そこで、もし可能であれば市民活動支援センターに冊子を置いて、確認したいことがあればそこに行く分かるようにしてもらいたい。もちろんインターネットでも見られるが、冊子の方が慣れてる方もいるのでお願いしたいと思います。

釜田センター長

実は県から昨日１冊届きました。今渡邊委員がおっしゃっていたように、昔は県が冊子で配っていました。それが経費節減ということで、全部ホームページにありますからそれを印刷してくださいとなった。それが何ページにもわたるボリュームのすごいものとなっていました。今回、昨日届きましたので、各コーディネーターに目を通してもらって、支援センターに閲覧用として配架させていただきます。

議長（竹澤会長）

議題（３）について、ほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

（４）野田夏まつり踊り七夕について

（資料（４））

議長（竹澤会長）

議題（４）について説明を求めた。

釜田センター長

議題（４）「野田夏まつり踊り七夕について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（４）について、委員に意見を求めた。

加藤委員

参加者の皆さまを複数名存じ上げております。積極的に参加していますが、お手洗いの問題が少し課題としてあるようです。近くの商店の方にも大分お世話になったようです。参加するのは楽しいし、見ている者も元気にしてくれるイベントですので、それも一つの課題かと思えます。

議長（竹澤会長）

議題（４）について、ほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

（５）第３回市民活動元気アップふえすたについて

（資料（５）－１～（５）－３）

議長（竹澤会長）

議題（５）について説明を求めた。

釜田センター長

議題（５）「第３回市民活動元気アップふえすたについて」を説明した。

竹澤会長

議題（５）について、委員に意見を求めた。

酒井委員

内容が盛りだくさんでこれが実現することを楽しみにしています。年々参加団体も増えているし、１階から３階までそれぞれまとまった所に関連する団体の展示が入っていて、見学する方も我々発表する側も力が入ります。頑張りたいと思います。

加藤委員

駐車場の環境はどのようになるでしょうか。それと2階の学習室については、少し切ない現況なので何とか整理してほしいと思います。それと軽食喫茶ですが、昨年の状況を踏まえて、今年度はよりたくさん準備させていただいて、たくさんのメンバーで参加させていただきたいと思います。みなさんに喜んでいただけるように準備を考えたいと思います。

釜田センター長

まず駐車場については、やはり一番の懸念材料ですが、市役所・文化会館の駐車場のほかに、少し遠いが東葛の教育センターの70台を確保します。それプラス、昨年はとりあえず吾平の所も70台位ありますが、これも確保しました。今年は、とりあえず吾平が春先に閉店し、現在何も使っていない状況なのでそこを何とか借りたいと考えておりますが、なかなか借りられない状況が今あるようです。ですので、もう少し様子を見て文化センターを所管する教育委員会にも働き掛け、臨時駐車場の確保、特に文化会館を使って催し物をやる時の約束事というか、お願いとして臨時駐車場を設けるということをしっかり周知徹底してほしいという要望は既に伝えてあります。ただ、キッコーマンの跡地の所は、今は草も刈ってきれいになっていますが、いつもそういう状況にありません。その辺は課題として開会までに調整したいと考えております。

それから学習室についても現場は見ております。昨年の状況は、ボロ隠しはしましたが、今年は、小細工ではなくてあそこにある物は調理実習室に移動しようと考えています。今回、日本総合医学会とEarth as Motherの他に野田の食を盛り上げる会とアスナロ農園の4団体が入りますので、そこはちょっと片付けをしてという風に考えております。

それと、軽食喫茶コーナーについては、昨年から本格的に参加団体の予約注文を取り入れましたので、参加団体打合せ会議の時に、できるだけ予約注文をしていただいて、後は当日、一般の方の飲み物や食べ物に専念できるようにしたいと考えています。

酒井委員

質問ですが、喫茶コーナーに例えば外国の食事とかを置いてもらいたいと希望する団体があった場合に、喫茶コーナーで提供するということは、可能でしょうか。もしもそういう団体があればお声掛けしても良いのかなと思いましたので。

加藤委員

つくしんぼの一環としては難しいので、独立してというのは後で御検討いただければ。なぜかという、つくしんぼは、保健所の許可を得て、保健所に登録した者が携わって行っています。つくしんぼで作った物を責任を持って販売しているので、それ以外の物は販売できないということです。

酒井委員

2回目の打合せ会議の結果をまだ聞いていないのですが、国際交流協会として外国の料理とかそういったものができるのであればと思っただけです。

釜田センター長

第2回目の打合せ会議の要望の中にもあります。外国食ということですが、販売に関しては第1回目から課題となっていて、元気アップふえすたは市の主催ということで行っています。来場者・参加者の方への食事の提供ということで、同じ敷地内にあるつくしんぼさんの協力を得て提供していますが、市の直営ということだと有料で販売するということは課題というか、難問があります。よくやられているのは、市の主催ではなくて実行委員会形式などの補助金や分担金をもらって別の団体が主催者になっているということであれば、そこで有料で販売も可能になる。もちろん法的な保健所の許可などは、必要になりますけれども、今のところ市の主催ということなので、それを可能にするためには実行委員会形式を取らなければいけないということで第1回の参加団体打合せ会議での要望への回答にも記載しております。そこは、やはり課題で、自主的にやるということであれば実行委員会というのは良いが、実際に参加して催し物を主体的に行うのと、全体を運営するという二つの役割を持たなければいけないので、それをうまくするための基礎固めということで、今回は各会場別にコーディネーターを各階ごとに担当を決めて、その中で参加団体の調整をする責任者を作ってもらって、準備とか当日の時間のチェックとかというものを自らでやっていくという気運を作り上げていきたいと考えています。うちのイベントの特色は、市民活動団体が普段行っている活動をそのまま発表するということで、どこかから買ってきた物を売るというのではなく、あくまでも市民活動団体の活動の中で手作りの物を売るとかというのは大いに結構だとは思いますが、その辺は、主催が市ということなので考慮していただきたい。

加藤委員

それぞれの団体が、自分たちの自慢の物を販売したいということはずごく分かりますので、そういう団体には市民ふれあいハート祭りへの参加を勧めてあげれば良いと思います。あそこは、実行委員会形式なので販売も可能ですし、市民皆で出会い、ふ

れあい、支え合いをテーマにされておりますので、ぜひ参加を検討されてはと思います。

酒井委員

販売目的ではなく、国際交流協会としてはアピールするものが外国の食とか外国の物しかないのです。

釜田センター長

私、ちょっと勘違いしていたのですけれども、野田の食を盛り上げる会というのは、まさしく食じゃないですか。今考えているのは、無償で味噌汁を提供するという事で、無償で提供するというのであれば、保健所の許可がいる、いらぬというのがありますけれども、有料での販売となるとちょっと無理ですけれども、無償でサンプル的に置くということであれば可能かと思います。

議長（竹澤会長）

議題（５）について、ほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

（６）市民活動に関するアンケートについて

（資料（６）、別紙２）

議長（竹澤会長）

議題（６）について説明を求めた。

嶋田コーディネーター

議題（６）「市民活動に関するアンケートについて」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（６）について委員に意見を求めた。

竹澤会長

団体の会員の活動意識に大きく影響を与える活動時間、１団体どれくらいの従事時間を費やしているのだろうかというのが、個人的には非常に気になるところです。少なれば会員のモチベーションに影響があると思いますし、多すぎるのもどうかと。この辺はアンケート集計の中でこの項目はいかがでしたか。

釜田センター長

活動の時間まではちょっと。そういう意味で冒頭に冊子を紹介した時に、次の課題としては今会長がおっしゃられた活動の場所、頻度を具体的にもう少しここに書いてもらえればということで、来年の登録申請の申請書の中に枠を作って記載してもら

よう改めたいと考えています。ただ、聞いていると頻度は毎週というのものもあるし、毎月というのものもあるし、後は皆がというのではなくて、限られた人がというのものもあり、その辺を測るのが難しいところです。例えば一般会員と事務局と役員とかに分けると少しは見えてくるかとは思いますが、ボランティアなんかですと施設に毎月何回も行っているというところもあれば、年に数回というところもあるので。ただ、その準備のための活動もしているのです、その辺の単位をどう取るかというのが難しいので、ほかの市町村でやっている活動場所、頻度という項目を参考にしながら、登録申請の時にその辺の状況が分かるようなものにしたいと考えています。それを見て、これではできないとか、これならやれるとかいうのが分かるよう、活動紹介の情報にもいかせるようにしたいとは思っています。

竹澤会長

アンケートを見ると、問5の活動の課題についての中で、今の答えというのが垣間見ることができるのかなど。問5の4の役員等に責任・業務が集中してしまうと。やはりこれがどこの団体もなきにしもあらずという課題と思います。是非この辺も時間があれば掘り下げていただければ、どの団体にも参考になるとと思いますので。ただ、このアンケートだけでも十分、各団体には納得できる内容なのかなと思います。

議長（竹澤会長）

議題（6）について、ほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

(7) 野田市市民活動支援センター（イオンノア店内）会議室の使用方法について

(資料(7))

議長(竹澤会長)

議題（7）について説明を求めた。

大塚市民生活課長

議題（7）「野田市市民活動支援センター（イオンノア店内）会議室の使用方法について」を説明した。

議長(竹澤会長)

議題（7）について委員に意見を求めた。

渡邊委員

団体に案内が来たのですが、会議室1のテーブル15個、椅子45脚というのはどんなイメージになりますか。

大塚市民生活課長

テーブルは、通常の会議室で使うような折りたたみできる長机で、椅子はパイプ椅子になります。

釜田センター長

それと、会議室1は壁面に鏡が貼られていますので、フラダンスなどの練習には向いていると思います。

酒井委員

ここの8階旧レストラン会議室の方は、最終的にいつまで使えるのでしょうか。

大塚市民生活課長

まだはっきりと何も決まっておきませんので、方針が決まりましたらこのような場で皆様にお知らせしたいと思っています。

竹澤会長

私からも何点かお聞きします。まず、イオンの会議室にコーディネーターの方が赴いて指導などをしていただけるという様なことは想定されていますでしょうか。

釜田センター長

すべてに対応するのは難しいと思いますが、御要望に応じて対応したいと考えております。

竹澤会長

それと2番目ですが、イオン会議室利用時のトラブルについて、机等の室内備品のトラブルについては市民生活課へとなっていますが、どうしても行政は平日というイメージがあります。休日にトラブルがあった場合の対応というのはどうなるのでしょうか。

大塚市民生活課長

そういった御心配もあろうかと思いますが、例えば社会福祉協議会で総合福祉会館をお貸ししていて備品が壊れているという事例は今までにないので、あまり想定はしていませんが、そういった場合は怪我をされたなどの緊急の場合は別ですが、月曜日に連絡をいただければ対応させていただきます。緊急の場合には、市役所の守衛の方に連絡していただければ、担当の方に連絡が入るかと思いますが、対応させていただきます。

竹澤会長

最後にもう一つ、少し飛躍的な考え方になってしまいますが、飲食可能というイオンの特性から、多数の来店客が会議室に興味を持って、見学をしたり、利用すること

が考えられると思います。イオンの利用数の影響が現在のレストラン会議室の利用頻度に影響を与えることは、考えられないでしょうか。利用頻度が下がった時に、センターとして従来の利用内容の見直しなどの対応を考えているのかを伺いたい。

釜田センター長

レストラン会議室の使用に当たっては、当初からレストラン閉店に伴う当面の間、市役所の事務的利用またはレストラン再開までの間でということでした。ここを会議室として貸し出すもう少し以前の話をする、中央公民館、特に総合福祉会館の市民活動団体の活動場所が限られているので、大きな会議室の利用については、バッティングする事例が多いということで、話し合いでなかなか協議が整わず、くじ引きなどで決めていたというのを聞いております。そういった中で、定期的にやらなければならない行事や学習会などに影響を及ぼしてしまうという課題がありました。その課題の解決のための新たな活動場所の提供の一つであったのと、たまたまレストランが閉店してここが借りられるということで、現実的には総合福祉会館の第3会議室が結構かち合っていたというのがありました。そういった中で向こうの混雑緩和と、こちらの有効活用というのを組み合わせてやるという。ただ、一つ懸念があったのが、定期的にやるということで、必要な備品を保管しなければいけないという課題も出てきてしまったのですが、それは条件を付けて最小限の備品の保管だけにしてくださいということにして、総合福祉会館は混雑が緩和されました。ただ、最近またバッティングすることがあると聞いております。レストラン会議室は無期限の貸出しではないので、その課題の解決策をイオンに求めたということです。もし、レストランを利用している団体がイオンに行き、総合福祉会館に行って空くということは、それをさらに活動の場としてセンターとしてはアピールして、もっと違う使い方もあると考えています。ですから、その辺については空いてしまって困るということではなくて、センターとしては必要な場所を必要な時に提供できるということで、今でも中央公民館など、バッティングしてしまうという状況も見られることから、空いて困るということは考えておりません。逆に団体も増えていく中で、提供できる活動の場が増えるというプラスの方が多いと思います。

議長（竹澤会長）

議題（7）について、ほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

〈異議無し⇒了承〉

(8) 平成31年度野田市市民活動団体支援補助金について

(資料 (8))

議長(竹澤会長)

議題 (8) について説明を求めた。

大塚市民生活課長

議題 (8) 「平成31年度野田市市民活動団体支援補助金について」を説明した。

議長(竹澤会長)

議題 (8) について委員に意見を求めた。

《意見無し⇒了承》

(9) 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について

(資料 (9))

議長(竹澤会長)

議題 (9) について説明を求めた。

大塚市民生活課長

議題 (9) 「野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について」を説明し、次回の審査会で委員を推薦いただくよう説明した。

議長(竹澤会長)

議題 (9) について各委員に意見を求めた。

《各委員に意見を聞き、次回の審査会で委員を推薦することとする》

3. 副市長挨拶

今村副市長

結局何も参加できずに申し訳ございません。どうしても打合せが終わらなかったもので、申し訳ございません。本日の議題については、あらかじめセンター長の方から報告は受けております。この前、センター長とも今後のセンターの在り方というものを話し合ったのですが、来年度あたりには、センターの活動方針等についてもいろいろ議論していただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。本日は、事実上の欠席ということで申し訳ございませんでした。

小川係長

次回の運営協議会の日程について、平成31年1月16日(水)か18日(金)の午後2時から今日と同じ旧レストラン会議室で開催したいが、都合はどうか。

議長(竹澤会長)

次回の運営協議会の日程について、委員に問うた。

《各委員に確認》

委員に問うた結果、特に都合の悪い日はないので、本日欠席している委員の都合も確認し、日程が決まり次第早めに連絡をすることとした。

小川係長

会議資料等、まとめ次第、早めに通知する。議題については、支援センターの登録状況や利用状況、ミニ学習会、県出前講座、第3回元気アップふえすたなどを予定している。

議長(竹澤会長)

会議の閉会を宣言した。